

# ウォーターPPPの導入可能性調査の 状況について

塩竈市上下水道部下水道課  
令和8年3月17日



1. ウォーター-PPPの概要について
2. ウォーター-PPP導入可能性調査について
  - (1) ウォーター-PPP導入の目的
  - (2) 導入までの流れ
  - (3) 導入可能性調査の状況
  - (4) 今後の対応

# ウォーターPPPの概要について

本市では、下水道施設の維持管理業務に係る効率性と持続可能な体制を目指し、R7dから「包括的民間委託」を導入いたしました。その一方で、国は上下水道事業へのPPP/PFI手法導入を「ウォーターPPP」と称し、管理・更新一体マネジメント方式に移行させるという将来像を志向している。

包括的民間委託(レベル1~3)	
レベル1	施設の運転管理・保守点検
レベル2	Lv.1+物品の調達・管理
レベル2.5	Lv.2+小規模な修繕
レベル3	Lv.2.5+修繕計画策定、修繕
管理・更新一体マネジメント方式	
レベル3.5	Lv.3+施設更新に係る… (A)計画策定【更新支援型】 (B)工事実施【更新実施型】
コンセッション方式	
レベル4	Lv.3.5+運営権・料金の直接收受 [事例_R6d末時点] ・上水・工水・下水一体[1団体]:宮城県 ・下水[3団体]:浜松市、須崎市、三浦市

◀ 本市の現状

◀ 目指すべき次の段階

## ※レベル3.5でクリアすべき要件

- ・長期契約:原則10年以上(例外なし)
- ・性能発注:  
いわゆる仕様発注ではなく、目標とする条件・水準を提示。性能が満たされる限り民間に一定の裁量が認められる。
- ・プロフィットシェア:  
コスト削減等で生じた想定を上回る利益は、市と受注者とで分け合う。
- ・維持管理と更新の一体マネジメント:  
維持管理上の課題を更新計画等へと反映し、より効率的な施設の保全を図る。



# ウォーターPPPの概要について

## ●県内における官民連携事業の導入実績

### 1. 宮城県：みやぎ型管理運営方式（コンセッション方式）

- ・対象事業：上下水道、工業用水、下水道の3事業を一括運営
- ・運営会社：株式会社 みずむすびマネジメントみやぎ
- ・事業期間：令和4年度から20年
- ・特徴：①施設の所有権は宮城県が保持  
②運営権は民間事業者を設定

### 2. 利府町：利府町上下水道事業包括的民間委託（更新支援型）

- ・対象事業：水道事業、公共下水道事業
- ・受託者：株式会社日水コンを代表とするグループ
- ・事業期間：令和7年度から10年
- ・特徴：①日水コンを代表とする特別目的会社（SPC）を設立  
②施設の所有権および運営権は利府町が保持

ウォーターPPPレベル3.5（コンストラクションマネジメント含む）



# ウォーターPPPの概要について

## ●県内において官民連携事業の採択を受けている自治体

	検討期間	導入予定時期	導入形式
川崎町	R6~R8	R10	水道または下水道単独
大和町	R6~R8	R13	水道または下水道単独
多賀城市	R6~R8	R10	上下一体 他分野連携
大崎市	R6~R8	R11	水道または下水道単独
角田市	R6~R8	R9	上下一体 他分野連携

(出典：令和8年度執行予定調書（宮城県）)

## ●今回の業務でヒヤリングを行った自治体

1. 多賀城市
2. 利府町
3. 七ヶ浜町



# ウォーターPPPの導入可能性調査について

## 1. ウォーターPPP導入の目的

- 今年度より3ヵ年で実施する「**包括的民間業務委託**」の**次の段階として、管理と更新業務を一体的**に行う

「**ウォーターPPP**」への**移行**を目的として事業を進める。

- 本業務の期間は**令和10年度からの10ヵ年**とする。

- 本市の**下水道事業を将来にわたって安定的に維持**することを目的とする。

①経営の効率化

②技術力・専門性の活用

③老朽化対策と計画的なインフラ更新

④人材不足への対応

- 令和9年度以降における**国の交付金等の要件化**に対応し、**管路の更新に必要となる財源を確保**する。



# ウォーターPPPの導入可能性調査について

## 2. 導入までの流れ

ウォーターPPPの導入は、一般的に3年以上の準備期間を経て、以下の**3つのフェーズ**により進められる。

### 【フェーズ1】基礎調査

- ・現状分析
- ・目的の整理
- ・検討体制の構築

### 【フェーズ2】導入可能性調査

- ・マーケットサウンディング（MS）
- ・VFM（Value for Money）評価
- ・事業スキームの決定

### 【フェーズ3】発注準備・事業者選定

- ・要求水準書作成
- ・審査、選定
- ・入札、公募
- ・契約、引継ぎ

本年度

令和8~9年度

# ウォーターPPPの導入可能性調査について

## 3. 導入可能性調査の状況

本年度は【フェーズ1】及び【フェーズ2】を中心とした業務を進めている。

### 1) マーケットサウンディング（MS）の実施

民間事業者の参入意欲や業務に対する意見及び事業へ参画する際の懸念事項等について、アンケート形式により調査を実施した。

#### ①民間事業者における参入意欲の把握

- ・官民連携手法の導入に際して民間事業者側の参入意欲はどの程度あるのか？

#### ②官民連携事業における業務内容に関する意見聴収

- ・業務内容に関して事業者としてどのような意見を持っているのか？

#### ③事業参画への懸念事項や課題の把握

- ・事業への参画に際して、事業者側としてどのような懸念や課題を抱えているのか？



## 2) マーケットサウンディング (MS) の結果

MS調査を実施したところ以下の結果となった。

### ①民間事業者における参入意欲

- ・ 計画、設計及び工事等の各事業者より計18件の回答があった。
- ・ 参加意欲の高い事業者が半数以上 (12社) を占めたことにより市場性の把握ができた。

### ②官民連携事業における業務内容に関する意見聴収

- ・ 「更新支援型」と「更新実施型」での比較では前者に高い需要があった。
- ・ 10年の長期契約については、妥当との回答が多く寄せられた。

### ③事業参画への懸念事項や課題の把握

- ・ 物価の変動や社会情勢の変化に柔軟な対応を求める意見が寄せられた。

## 3) VFMによる評価（現状との比較）

本業務の導入によってどれだけ「安く」あるいはどれだけ「業務の質が向上」するかを検証する。

### ①経費削減効果の検証

- ・どのような手法で経費削減ができるのか？

### ②各種計画業務に対する効果の検証

- ・計画を策定するに際にどのような効果が期待できるのか？

### ③日常的業務に対する効果の検証

- ・日常的業務を委託することによって、どのような効果が期待できるか？

### ④CM（コンストラクションマネジメント）の導入効果の検証

- ・CMを導入した場合、どのような効果が期待できるのか？

## 4) VFMによる評価結果

VFMを実施し以下の評価結果となった

### ①経費削減効果

- ・長期契約によるスケールメリットからの経費削減効果に期待が持てる。

### ②各種計画業務に対する効果

- ・保守点検結果を更新計画へ反映することにより、業務の効率化による経費削減と計画の一貫性を確保できる。

### ③日常業務に対する効果

- ・窓口や各種立会い業務等の委託により、市職員はより質の高い業務への注力が可能となる。

### ④CM導入効果

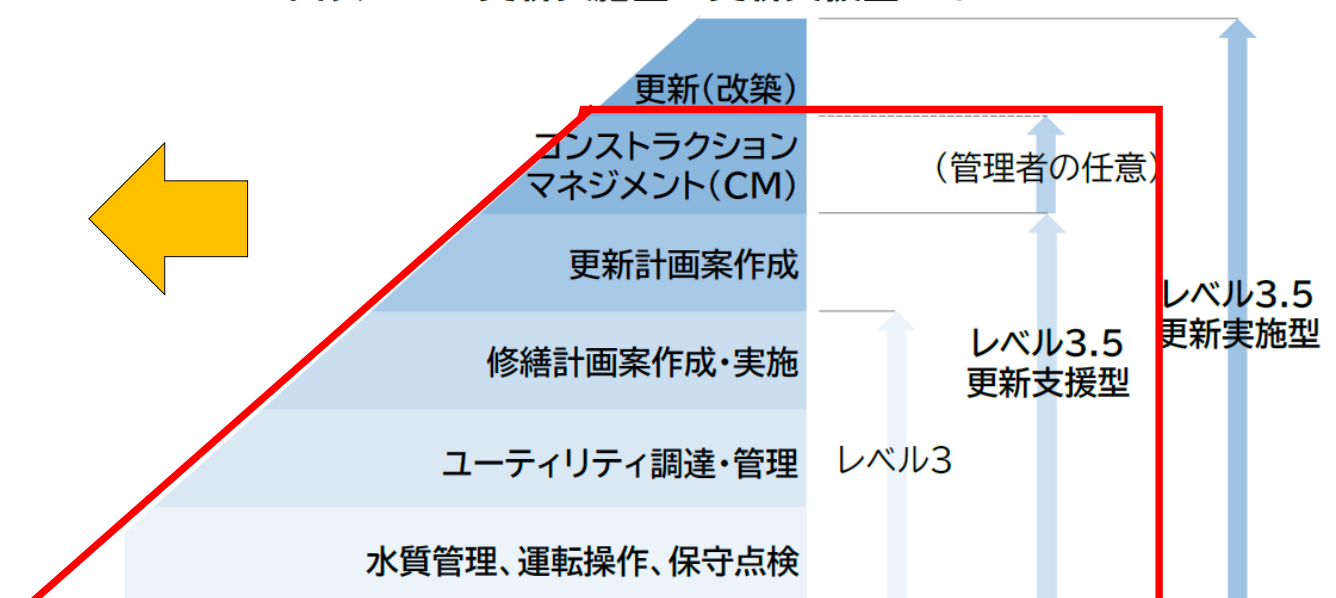
- ・設計から施工までの一体的な業務の履行が可能となる。
- ・職員の技術力向上や持続可能な事業運営が可能となる。

## 5) 事業スキームの決定

これまでの調査及び検討結果により、「更新支援型」に「**コンストラクションマネジメント (CM)**」を加えた事業スキームを基本として次年度以降の業務を進めて行く。

ウォーターPPP (更新支援型)  
+  
コンストラクションマネジメント  
(CM)

図表 2-2 更新実施型と更新支援型のイメージ



(出典) 下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン  
(国土交通省)

# ウォーターPPPの導入可能性調査について

## 4. 今後の対応

- ・令和8年度からの2カ年により【フェーズ3】の業務に取り組む。
- ・業務委託については、2カ年の債務負担行為に基づく契約とする。

令和8年度：包括的民間業務委託の総括

発注仕様書作成  
入札公募の準備

令和9年度：入札公募

契約締結  
業務引継ぎ

令和10年度：管理更新一体マネジメント業務開始



# ウォーターPPPの導入可能性調査について

## ●下水道官民連携事業に伴うロードマップ

【暫定版】

		第2期 防交安計画(重点)					第3期 防交安計画(重点)		備考
		2023d	2024d	2025d	2026d	2027d	2028d	2029d	
		R5d	R6d	R7d	R8d	R9d	R10d	R11d	
官民連携業務関係	官民連携業務委託		導入期間		包括的民間業務委託 (R7d~R9d)				
	包括的民間業務委託	・入札・公募準備 ・仕様書作成	・入札、公募 ・契約、引継ぎ	・事業実施 ・モニタリング					
	官民連携業務委託		WPPP導入期間				管理・更新一体マネジメント業務委託 (R10d~R19d)		
	管理・更新一体マネジメント業務委託【WPPP】	・事前検討 ・基礎情報の収集・整理	・導入可能性調査 ・デューデリジェンス ・マーケットサウンディング	・入札・公募準備 ・仕様書作成	・入札、公募 ・契約、引継ぎ		・事業実施 ・モニタリング		

●防交安予算交付要件化 (R9d~)

